

皆さん、おはようございます。今日で一学期が終了します。

4月の始業式・入学式から約4ヶ月。授業や部活動や学校行事など、目まぐるしい毎日だったのではないのでしょうか。特に1年生は新しい環境に慣れるだけで必死だったかもしれません。2年生は学校の中核として、3年生はそれぞれの進路に向けて、日々緊張感を持って過ごしてきたことと思います。

この一学期、皆さんがそれぞれの場所で、小さな挑戦を積み重ね、一生懸命に駆け抜けてきた姿を、私はとても頼もしく、嬉しく見ていました。

まずは、ここまで走りきった自分自身に、心の中で大きな拍手を送ってください。

さて、明日から、いよいよ待ちに待った夏休みが始まります。

皆さんにとって、夏休みとはどのような時間でしょうか？

「勉強に集中する時間」「部活動に打ち込む時間」「友達と思い出を作る時間」……。

捉え方は人それぞれだと思います。ここで皆さんに一つ、問いかけてみたいと思います。

「もし、目の前に真っ白な自由帳を渡されたら、皆さんは何を書き込みますか？」

普段の学校生活は、時間割という「枠組み」が最初から用意されています。何時に登校し、何時にどの授業を受け、いつお弁当を食べるか、あらかじめデザインされた流れに沿って動いています。しかし、夏休みは違います。時間割の枠組みはなくなり、目の前には「真っ白な時間」つまり、広大な「余白（よはく）」が広がっています。

この余白をどう使うかは、完全に皆さんの自由です。

自由だからこそ、何もしないまま「気がついたら一日が終わっていた、休みが終わっていた」という過ごし方をすることもできてしまいます。

しかし、それは非常に「もったいない」時間の使い方です。

私が皆さんにこの夏、挑戦してほしいのは、「自分の意思で、その余白をデザインする」ということです。デザインするといっても、毎日24時間のスケジュールを分刻みでガチガチに決める必要はありません。

「この夏は、今まで読まなかったジャンルの本を5冊読む」

「毎日、朝7時に起きて散歩をする」

「苦手の英語のこの单元だけは完璧にマスターする」

何でも構いません。大切なのは、「誰かに言われてやるのではなく、自分が『こう過ごす』と決めて、実行する」ということです。

自分で決めて行動したことは、どんなに小さなことでも、皆さんの「自分は自分の人生を動かしているんだ」という自信につながります。

この自信こそが、二学期以降の大きな成長の土台になります。

最後に、とても大切な約束をさせてください。

皆さんがデザインする夏休みは、「自分の命と健康を大切にする」という大前提があって初めて成り立ちます。

暑い日が続きますので熱中症には十分に気をつけること。そして、SNSの使い方や、事故、トラブルなどには十分に警戒し、自分自身を大切にする行動をとってください。

もし、一人で悩んだり、不安になったりすることがあれば、抱え込まずに家族や先生たち、周りの信頼できる大人を頼ってください。

二学期の始業式、一回り大きく、たくましく成長した皆さんと、またこの場所で笑顔で会えることを心から楽しみにしています。充実した、素晴らしい夏休みをデザインしてください。

以上で、私からの話を終わります。